

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅自由通路管理事業			会計	款	項	目	大	小
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課				
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅利用者	意図	自由通路を常時円滑かつ快適に利用できるようにする。
事業内容	・TX及び東武野田線流山おおたかの森駅改札口間のアクセス路として整備された自由通路の防犯・防火・清掃・照明施設等について、一元的かつ効率的に管理し、24時間利用可能な通路として、その安全性と快適性を適切に維持する。			
事業開始から現在までの状況変化	・TX開業と併せて整備進展中の新市街地は、現在道路等の都市基盤を整備展開中である。状況の変化としては、開業から東西南北4か所の出入り口の整備及びエスカレーターの移動を実施した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		支障処理件数	32	52	45	件	↓↓↓
指標で表すことができない定性的な成果	・各種昇降設備・通路・階段等を適切に維持管理することにより乗り換え等に係る通路利用者の快適で円滑な通行を確保し市民生活における利便性の向上が図れた。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・自由通路で発生した支障件数は増加傾向にあるが、緊急対応に迅速に対応し事故等は発生していない。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		27,432,693	12,005,158	13,315,999			
事業費(b)(円)		20,254,693	5,018,158	6,406,733			
うち一般財源		20,254,693	5,018,158	3,654,763			
職員給与費(c)(円)		7,178,000	6,987,000	6,909,266			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・流山市役所デザインビルド型施設包括管理業務委託により緊急時の対応を迅速に行い利用者の安全を確保する。	取組みの課題	・自由通路は24時間開放していることから、常時監視が必要である。 ・自由通路内の施設において、開業以来の経年劣化が見受けられる為、修繕工事が必要である。
今年度(H26)に実施した取り組み	・緊急時の連絡体制の強化を図ると共に修繕計画を立案した。	今後の改善計画	・施設の点検を実施すると共に修繕計画に基づき補修工事等を実施する。 ・自由通路の使用方法について基準を定める必要がある。